



長門市・下関市合同防災図上訓練

### 実際と同様に取り組み

1月18日(水)、長門市・下関市合同防災図上訓練がルネッサながらと開かれ、市職員や防災関係機関など10団体109人が参加しました。この訓練は、災害に対する対応能力の向上、また下関市と締結している「災害時の相互応援に関する協定」に基づき、災害発生時の対応能力の向上と応援

体制を強化する目的で毎年実施しています。今回の訓練は、午前7時頃に菊川断層を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生し、長門市で震度6弱を観測した想定で行われました。参加者は、災害状況に対して、すばやく対応したり、関係機関と連携し実際と同じように取り組んでいました。



▲下関市と連絡を取り合う大西市長

▼さまざまな状況の対応策を練る参加者



仙崎市場で初競り

### 仙崎ブランドを高める年に

1月5日(木)早朝、仙崎市場で初競り式が行われました。山口県漁協長門統括支店の津室喜久運営委員長が、「現在建設中の仙崎市場は6月には供用開始となります。鮮度の良い魚を売って、水産のまち仙崎の元気を取り戻し、長門の元気につなげていきたい」とあいさつをしました。

続いて大西市長が、「全国ブランドとして、仙崎の価値を高める1年になるよう、明るい希望を持っていきたい」とあいさつをしました。初競り式のと、競りが始まり、この日水揚げされた鯛やヤズ、イカやタコなどが、競り人の独特の声が響く中、次々に競り落とされました。



### 社明作文コンクールで山口保護司会連合会長賞 あいさつで社会を明るく

1月13日(金)、第61回「社会を明るくする運動」作文コンテストで、明倫小学校6年生の岡瑞貴さんが山口保護司会連合会長賞を受賞しました。岡さんは「あいさつで明るい社会を」というタイトルで、学校で実施しているあいさつ運動の体験や気づきを作文に

表しました。明倫小学校で行われた伝達式で賞状を受け取った岡さんは「受賞はともうれいですが、明るいあいさつをすれば周りも明るい気持ちになるので、これからも出会った人にあいさつをしていきたいです」と話しました。



深川小学校に校訓碑

### 校訓を見ながらがんばる

1月10日(火)、深川小学校の中庭に校訓碑が設置されました。この校訓碑は新校舎を建設した事業所10社が寄贈したもので、同校の校訓「本気」「根気」「元気」の文字が刻まれています。

除幕式では、芝田校長と、6年生の小田かなみさん、久

保田蛭美さんが除幕を行いました。芝田校長は、「3つの石碑は間が膨らみ、くっついていきます。製作された彫刻家の大井秀規さんは、3つがそろってこそ力を発揮できると考えられました。毎日この校訓碑を見ながらがんばりましょう」とあいさつしました。



実習船「海友丸」出航式

### 水産高校最後の航海へ

1月12日(水)、遠洋航海の実習船「海友丸」の出港式が県立水産高校体育館で行われました。実習に参加する生徒は県立水産高校の海洋技術科2年生と大津緑洋高校水産校舎の専攻科1年生合わせて30人。福岡県立水産高校専攻科の1年生10人と合同で出航しました。出航後は航海実習や

マグロはえ縄漁を体験し、2月7日にホノルルに入港の予定です。出港式では、実習生を代表して海洋技術科2年の道永浩貴さんが「水産高校生としては今回が最後の航海となるため、目的を達成して有終の美を飾ろうと思います。元気な姿で帰ってきます」と決意を述べました。



▲大勢の人に見送られて出航

▼決意を述べる道永浩貴さん

